

令和7年度 特別の教育課程の実施状況等について

岐阜県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
瑞穂市立本田小学校	瑞穂市教育委員会	公立

1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学 校 名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
瑞穂市立本田小学校	https://edu-mizuho.com/honden/page-6867/

2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
瑞穂市立本田小学校	https://edu-mizuho.com/honden/20241213_4624/	https://edu-mizuho.com/honden/20241213_4624/

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ☒ 計画通り実施できている
- ☐ 一部、計画通り実施できていない
- ☐ ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特記事項なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ☒ 実施している
- ☐ 実施していない

<特記事項>

HP にて、特別の教育課程特例校の概要や、実施する理由について公表している。

3. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

瑞穂市の現状と同様、本田小でも年々外国人児童が増加してきている。どの児童も楽しい学校生活を送るためのコミュニケーションツールである英語を、1・2年生の早い段階で導入することで、国や文化が違っても、互いの良さを受け入れる人間関係が自然に生まれつつある。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

本校では、1・2年生から英語に慣れ親しむことで、3年生の英語の学習への接続がスムーズであった。また、学習した単語を積極的に使ったり、センテンスを使用して仲間とコミュニケーションを図ったりできた。

4. 課題の改善のための取組の方向性

「3」に示した課題を踏まえ、職員の校内研修を行うことが必要と考えられる。思考しながら英語を使い、必然性のある言語活動を授業に仕組む研修を取り入れていきたい。またスモールトークも日常的に取り入れていきたい。